



阿武隈川沿いに 活気と笑い声を

桃源郷にさらなる活気を……。そんな思いから、2年前に整備を始めた阿武隈川多目的親水公園。川のせせらぎや四季折々の草花、生き物など、自然の魅力を身近に感じられる憩いの場が、この春オープンします。

自然と触れ合える新名所

阿武隈川と桑折桃源郷周辺のにぎわい創出・地域活性化のため、自然と思う存分に触れ合える「桑折町阿武隈川多目的親水公園」が4月中旬、伊達崎大畑向にオープンします。四季の移り変わりを感じながら、カヌーやサイクリング、日帰りキャンプなどのアウトドアを楽しめる、町の新たな観光スポットです。

ドア関係者らがアイデアを出し合い、国土交通省で登録された「桑折地区かわまちづくり計画」に基づき、公園周辺の整備を進めてきました。より多くの人に愛され、長く親しまれる場所になるように、町民の皆さんから愛称を募集しました。愛称は、281作品の中から、大槻彩也乃さん（醸芳中3年）と審査員らの案を組み合わせた「ピーチリパーク157」に決定。桃源郷の川沿いにて

きた公園をイメージさせる「ピーチ（桃）」と「リパーク（川・リバーと公園・パークを組み合わせた造語）」に「157」*（阿武隈川源流から公園までの距離）を掛け合わせた名称です。

楽しみ方たくさん

多目的広場や花畑、川、池、遊歩道などが備わる公園では、さまざまな自然の魅力を体感することができます。

広々とした多目的広場では、日帰りキャンプやバーベキューを楽しめます。特に春は、桃の花や菜の花が咲き誇り、見晴らしも抜群です。

川沿いに整備された親水護岸では、子どもから大人まで安心して釣りやカヌーを楽しむ



1_天皇后両陛下も訪れた、辺り一面が桃の花に囲まれた遊歩道 2_桜や桃の花、菜の花を一望できる開放的な河原でバーベキュー 3、4_四季折々の美しい景観を堪能しながら、思い切りアウトドアを楽しめます



めます（釣りは漁業協同組合の遊漁券が必要）。夏に向けて、体験教室も行いますので、ぜひご参加ください。

公園中心部にある池では、水辺にすむ生き物の観察や水質調査ができます。実際に見て触れて、水環境について学んでみませんか。

阿武隈川に面した開放的な遊歩道では、町のシンボルである半田山を眺めながら、サイクリングやウォーキングをして、気持ち良い汗を流すことができます。

笑顔あふれる交流の場に

新鮮な空気、風にそよぐ緑、さわやかな水の音……。心地良いのどかな自然の中で、思い思いに自然と触れ合える「ピーチリパーク157」。さまざまな体験や遊びを通して、体と心をリフレッシュできます。町内外から多くの人々が立ち寄り、子どもたちや家族連れの笑い声が響き渡る、町の新たな交流スポットとなりますように。

親水公園に対する思いを聞きました

自然遊びの楽しさを体感してほしい

幼少期、学校帰りに河原へ行き、友達と夢中になった「土手遊び」。桃やりんごの木箱の板に乗って草すべりをしたり、空き缶をわなにしてお魚すくいをしたり、先輩を真似して自転車で走り回ったり、伊達崎地区に住むわたしにとって、まさにここは青春の場所でした。

時代が変わり、ゲームや携帯電話などの遊び道具が増え、さらに、水辺の事故防止策が整えられたことから、年々自然の中で遊ぶ子どもが減ったように思います。本来の形をなるべく残しながら、安全に自然と触れ合える環境を整えました。ぜひ風を切って自転車に乗る爽快感や魚が釣れた時の喜びを、多くの子どもたちに生で味わってほしいです。

Interview



桑折かわまち協議会
副会長
ひでゆき
大槻 栄之さん

